

住民による まち・むら活力確保支援セミナー

## 「長野県内における集落活性化の取組について」

2016.09.01  
長野市生涯学習センター

信州大学 地域総合戦略推進本部  
新 雄 太

### TOPICS | 産学官民連携の3事業

#### 1. 長野市耕作放棄地等における「ソルガムきび」活用調査 共同事業

平成25年度～現在 長野市×信州大学  
平成26年度～現在 一般社団法人 北陸地域づくり協会

#### 2. 文部科学省 地（知）の拠点整備事『信州アカデミア』 人材育成講座「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」

平成26年度～現在  
長野県・長野市・松本市・上田市・伊那市・南箕輪村×信州大学

#### 3. 大町市定住促進共同研究 大町市街地における「空き不動産」活用調査

平成27年度～現在 大町市×信州大学

# 1. 長野市耕作放棄地等における「ソルガムきび」活用調査共同事業

H25年度～ 長野市×信州大学

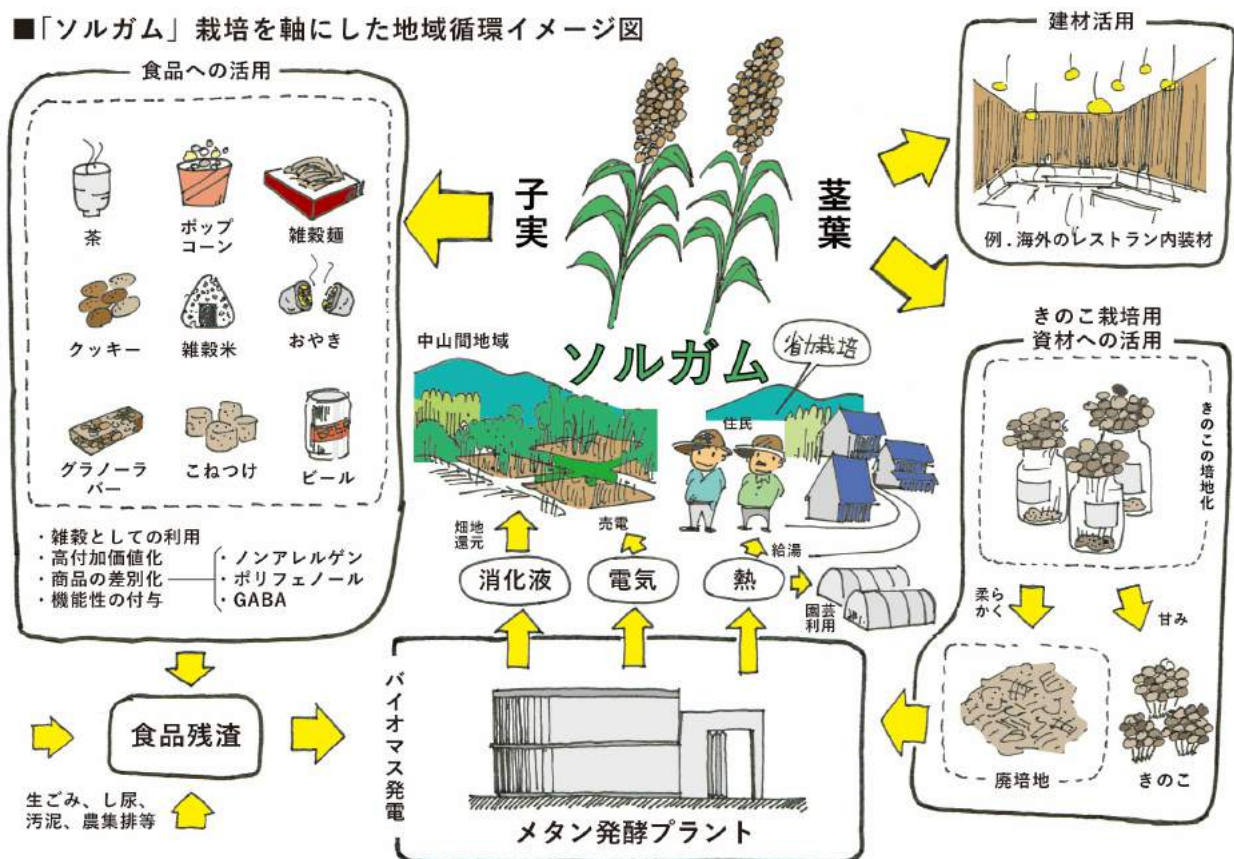


左から涼風・華青葉・三尺ソルゴ・ミニソルゴ

## ソルガムきびが拓く地域自立型循環モデルの開発



### ■「ソルガム」栽培を軸にした地域循環イメージ図



● 工程



● 作業状況



施肥



播種・鎮圧



除草



刈取り



脱穀



乾燥

H27 品種別収穫量（茎葉／子実）

表. 10 アールあたりの収量

	茎葉重量（収穫時）		子実体収量
	（乾物重量）	（生重量）	
涼風	310 kg	1069 kg	（1 番刈り）
	570 kg	1966 kg	（2 番刈り）
合計	880 kg	3035 kg	
T D N ソルゴー	505 kg	1229 kg	280 kg
ミニソルゴー	1513 kg	3094 kg	400 kg

表. 10 アール栽培に必要な労力の見積もり (夫婦2人での共同作業をベース)

作業内容	必要作業量
施肥および耕起	手撒きによる施肥作業：1日 (トラック使用) (マニユアスプレッダーによる機械化の検討) トラクターによる耕起：2時間
播種	トラクターでの播種作業：2時間 手押しの播種機による作業：半日
初期除草	中耕機による作業：半日
中間除草	ビーバーによる畝間の除草：半日
収穫&はぜ掛け	バインダーによる作業：1日半
脱穀	ハーベスターによる作業：半日
茎葉処理	破砕機による作業：1日 (フレコンパック)
年間合計作業量	2人×6.0日=12人・日

H27 ソルガムきび健康食品コンペティションを開催

〈公開試食審査会〉全26作品一覧

### 加工食品部門



**審査員特別賞：**  
鳥羽広子  
「ソルガムきび麹 100%味噌」

**加工食品部門賞：**  
七二会かあさんち「そのもちっ」

### チャレンジ部門



**最優秀賞：**原田 薫「ソルガムなっとう」

### 料理部門



**料理部門賞：**濱渕亮子  
「信州産ルビーなタルト」

**チャレンジ部門賞：**  
信濃電力株式会社  
「いつかは長野市の地ビールに！  
ソルガムビール」



佃氏による特別講演



横山氏による特別講演



大学は美味しい!!フェア 2016  
新宿高島屋  
2016.05.26-31

ソルガムきび子実活用の成果

H26年度

【成果】

- ソルガム試食会の開催
- 製造、販路関係者へのアプローチ

⇒認知度向上

【課題】

- 子実の大量な用途開発
- 販売ルート
- 食用向け品種の開発
- 原料の加工(とう精、粉碎など)を他の穀物と別ラインで行なう必要



H27年度

- 「ソルガムきび健康食品コンペティション」を開催  
⇒県内から63作品の応募、入選作品の商品化に向けた協議開始
- 穀実試験の実施(小麦代替品種等の選抜)  
⇒次年度以降の栽培試験品種とする

今後の  
予定

- コンペの成果活用(優秀作品の商品化等)
- 第2回コンペティションの開催(9/9~10/17募集・12/8公開試食審査会)

■子実活用普及促進イメージ図

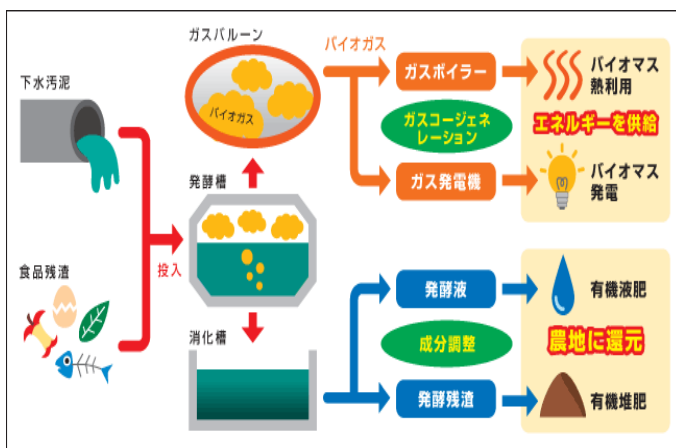


エネルギー化調査

キノコ廃培地メタン発酵試験(H26)

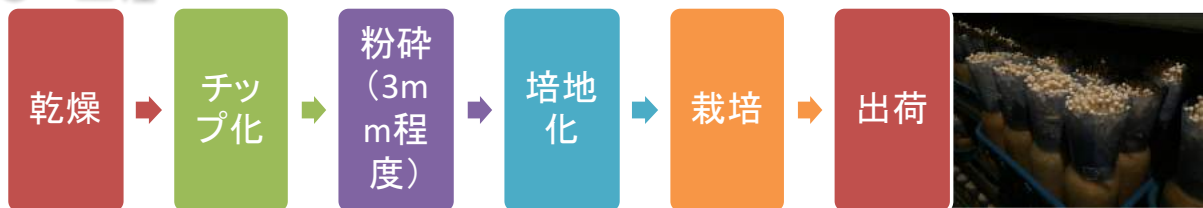
●株式会社開成のバイオマスプラントにおける投入試験

- ・処理量 4.9t/日
- ・処理方式 乾式メタン発酵



	通常キノコ培地	ソルガム培地
ガス発生量 (m <sup>3</sup> /t)	83.3	62.5
発電量 (kWh/t)	194.8	146.1
熱発生量 (Mcal/t)	238.6	179.0

## ○ 工程



## ○ 経過と今後の予定

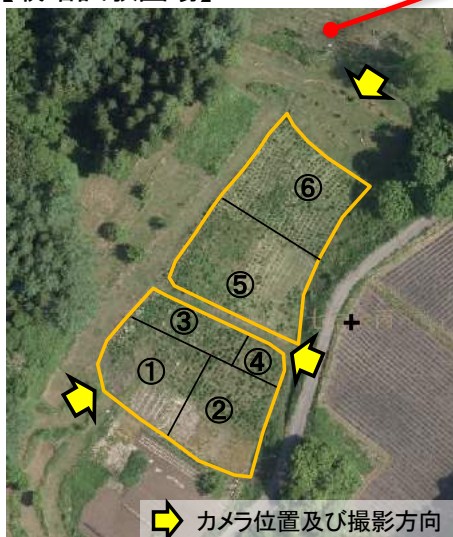
H26年度	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キノコの品質向上: Brix(糖度)が高く、水キノコになり難い</li> <li>作業性向上: 石づきが培地から離れやすい</li> <li>収量: 従来培地と同等</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>培地中のソルガム代替率が40%に留まる(収量が少なかった)</li> </ul>
H27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>培地中のソルガム代替率を変えて試験(予定)</li> <li>茎葉は十分に確保</li> </ul>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27の成果を反映した培地で、H28の秋のキノコフェア等の販売を目指す。</li> </ul>

## ソルガム栽培試験H28栽培試験地

- 場所 長野市七二会大平
- 面積 約30a
- 標高 約910m
- 観察用定点カメラ設置 3地点



### 【栽培試験圃場】



位置	品種名・面積	品種概要等
①	ミニソルゴー約6a (有機肥料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販品種</li> <li>H26, 27栽培</li> </ul>
②	ミニソルゴー約6a (化学肥料)	
③	三尺ソルゴー約2a (苗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販品種</li> <li>良好品種</li> <li>肥料比較試験</li> </ul>
④	三尺ソルゴー約1a (種)	
⑤	モチキビ約9a	<ul style="list-style-type: none"> <li>西山の在来種</li> </ul>
⑥	T D Nソルゴー約8a	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販品種</li> <li>粉体利用良好</li> <li>鳥害抵抗性なし</li> </ul>

shinshu-sorghum.com

地球と人にやさしい夢の穀物  
**信州ソルガムきび**  
ホーム | ソルガムきびって? | 栽培方法 | 子実活用 | 茎葉活用 | 購入など

お問合せ

【結果速報】ソルガムきび健康食品コンペティション

2015.11.26

■ 協議会  
-登録フォーム  
-会費支払  
-組織  
-規約

■ 研究経過  
-H26年度成果  
-H27年度成果  
-経産  
-北陸報告書

新着情報

日経に掲載されました「健康食品で注目ソルガムきび：耕作放棄地に実れ」

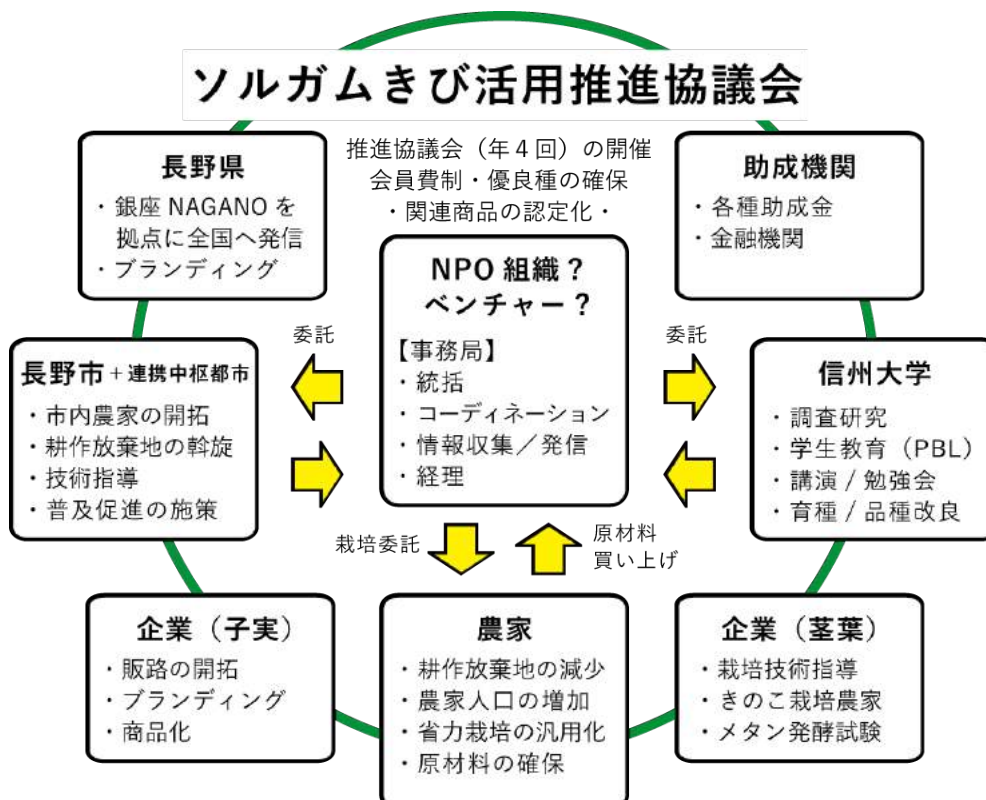
【結果速報】ソルガムきび健康食品コンペティション

お問い合わせフォームを新設しました



スマホ/タブレット/PC対応！  
あらゆる端末で参照・投稿できる！

H28 組織づくりが最大のテーマ





## 2. 文部科学省 地（知）の拠点整備事業『信州アカデミア』 人材育成講座「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」

H26年度～ 長野県、長野市、松本市、上田市、伊那市、南箕輪村×信州大学



文部科学省  
地(知)の拠点

### 信州の未来を担う人材育成講座



### 「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ (=プロゼミ)」って何？

...地域の再生や活性化に取り組む人たちとともに、  
信州の未来を担う地域のリーダーを育成するための  
「課題解決の知」を学ぶ場を目指しています！



プロゼミ  
= 地域の実践力+大学の研究力！

1. 課題解決知の形成

2. 人材育成フェーズ

3. 地域協創



信州全域を対象にした3つの拠点で実施

私たちが取り組む3つの地域課題



**北信地域**

中山間地域コミュニティの未来  
 （モデル地区：長野市）

**中・東信地域**

信州の歴史・芸術文化の未来  
 （モデル地区：松本市・上田市）

**南信地域**

人と動物・自然環境の共生する未来  
 （モデル地区：伊那市・南箕輪村）



テーマ:「やまざとの地域資源をどう生かすか  
—上流から下流まで—」

実施期間:2014年11月1日～2015年1月24日(全15回)

受講生:25名

(長野市・上田市・大田市・松本市・千曲市・栄村・佐久穂町・長和町・木曾町・伊那市・大鹿村・横浜市)

# 第1期修了生 地域の革新的リーダー 計69名！



中山間地域の未来学Ⅰ：25名／芸術文化の未来学Ⅰ：21名／環境共生の未来学Ⅰ：23名

# プロゼミ発！七二会「みんながカメラマン」始動！

信州大学 地域戦略プロフェッショナル・ゼミ報告会

**地域資源 再発見プロジェクト**  
みんながカメラマン プレワークショップ

信州大学「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」で生まれた七二会を活性化させるアイデア「みんながカメラマン」を発表するプレワークショップをひらきます。七二会の写真をみんなで持ち寄り対話することで、気にも留めなかった事が素敵なモチーフに昇華するワークショップです。

日時：2015年4月11日（土）14:00～16:30  
場所：七二会支所 2階  
持ち物：七二会で撮影してプリントした写真3枚  
「宝物の写真」「わが人生の誇り」「七二会の笑顔」「自愛したい場所」「美しい自然」「昔の七二会」などデジタルカメラをお持ちの方はご持参ください。  
参加料：無料です。お申し込みは不要です。  
七二会の活性化に興味がある方はどなたでも参加可

主催：みんながカメラマン実行委員会  
協力：信州大学地域戦略センター  
問い合わせ：実行委員会代表 宮原美佳  
mail: miyabara@zero-out.com



2015.04.11 長野市七二会支所



25



テーマ：「やまざとの生きる力を真似ぶ  
一視て、聴き、嗅ぎ、味わい、触れる 集落の教え一」

実施期間：2015年10月17日(土)～2016年2月27日(土)(全15回+α)

受講生：16名  
(上越市、長野市、小谷村、上田市、塩尻市、駒ヶ根市、中川村、阿南町)

26

長野県地域おこし協力隊×信州大学プロゼミⅡ 共同シンポジウム

公開講座

**2015.12.12(土)**  
13:00(開場12:30) → 17:00  
@信州大学工学部 SASTec 3階大会講堂

# 地域をみなおす、うごかす。

「地域おこし協力隊×プロゼミⅡ」  
長野県という共通の地域を、みなおし、うごかしていくプレイヤーが一堂に介し同テーマを考えます。地域課題解決プロジェクトのスタートアップ会議を行い、アイデアから実践へ。ここから始まります。

地域をみなおす

第1部：基調講演

新しい価値の共創による地域づくり  
—価値共創コミュニティのすすめ—

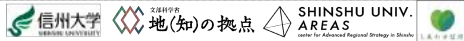
演者紹介

佐藤洋平 東京大学名誉教授  
中山間地域フォーラム 会長  
フードビジネス推進機構 代表理事



昭和17年東京に生れる。幼少期を長野県松本市で過ごす。本籍、長野県。昭和42年東京大学農学部卒。昭和44年大学院農学研究科修士課程、昭和47年博士課程を修了。東京大学農学部助手、宇都宮大学助教授(農学)、筑波大学助教授、教授(社会学系)を経て、東京大学教授(大学院農学生命科学研究科)、同専攻長、東京大学評議員を務め、平成16年に定年退職。同年、東京農業大学教授(国際発酵醸造学部)、平成17年独立行政法人農業環境技術研究所理事を拝命、平成23年退任。

この間、農村計画学会会長、農業農村工学会会長、国際水田・水環境工学会(PAWEESS)会長、CIGR理事、日本学術会議会員、食料・農業・農村政策調査委員会(農業農村政策調整部)会長、財団法人農村整備総合センター理事長、などを歴任。現在、国際発酵醸造学部長、(ICID)日本委員会委員長、一般社団法人農業土木事業協会会長、特定非営利活動法人中山間地域フォーラム会長、フードビジネス推進機構理事、日本環境共生学会副会長を務める。



地域をうごかす

第2部：信州・地(知)の拠点円卓会議

**step1**  
6つの地域課題解決プロジェクトによる  
ショートプレゼンテーション

**step2**  
参加者が賛同・協力したいプランを選択  
プロジェクトスタートアップ会議

**step3**  
【プロジェクト宣言】

この日を皮切りに信州の6箇所で  
プロジェクトがスタートします。



プロジェクト提案発表者一覧

【長野県 地域おこし協力隊】

北信地域

**栗原 健**  
信州大学プロゼミⅡ 企画委員  
長野県地域おこし協力隊員

中東信地域

**新井 東珠**  
小倉生活エネルギー研究開発部 小倉村地域おこし協力隊員  
エネルギー推進員

南信地域

**下平 美鈴**  
農水庁地域おこし協力隊員  
観光文化の未来学Ⅱ 研修生

**A. 「飯島豆腐組合 ~参加型豆腐展コンテンツ~」**  
長野市大町にある「飯島豆腐」をおかきまでオーブンで半年まで経ました。今回は、豆腐製造以外のイベントやメディア事業に、積極的に(勝手に)参加してくれる組合員を募りました。また、参加しやすい仕組みやデザインを検討するアイデア出しを行いました。

**B. 「過熟」de 省エネ**  
長野の冬はともち寒いですが、そんな季節は暖房を焚いてエアコン生活が当たり前!けどお料理を無駄に焼いていませんか?「熟」は知らぬうちに逃がっているんですよ。逃げていく「熟」を、特にアルミラックの曲者です。この窓から逃げる「熟」を食い止めるには暖房の暖かさは減らさず、熱く焼く量を少なくする。おまけに「熟」を二重ガラス、木質ラックなどでもありますが、お高いですよ。もう少し安く、暖房に負担が掛かれば…、そんなことを考えている「トップバリュー」と言う窓枠に出会いました。何がすごいと言うと熱放射の98%を逃さないという特徴。これを活用すれば…そんな提案です。

**C. 「阿島傘を後世へつなげようプロジェクト(仮)」**  
江戸時代から続く伝統産業である「阿島傘」です。近年の普及に追い付かず、現在では1軒の専業生産者のみとなりました。また、現在は骨組み・糊塗といった材料のほとんどを岐阜からの仕入れに頼っており、供給が不安定なため、充分に生産をすることもできません。そこでこのプロジェクトを通じ、新たな材料の仕入れ方を探る。個人/小規模の者が容易に活用するアイデア、各種補助金を活用していったるの。のしつなぐといった内容についてヒントをお持ちの方、また阿島傘を後世に残したいと感じていただける仲間になっていただきたいのです。阿島傘は伝統の文化です!! どうぞ皆さんのつながり、お知恵を助けてください!!

【信州大学 地域戦略プロフェッショナル・ゼミ 第1期研修生】

中山間地域の未来学

**竹節 友樹**  
株式会社WAKUWAKU  
今年のうち、信州県産物販売促進協議会 中山間地域の未来学Ⅱ 研修生

手摺文化の未来学

**吉野 琴美**  
団長職員(音楽者・高齢者の音楽活動、多目的活動)推進員  
中山間地域の未来学Ⅱ 研修生

**西沢 崇**  
会長  
中山間地域の未来学Ⅱ 研修生

環境共生の未来学

**中村 智恵美**  
うらたのプラットフォーム(まどう・ジュース・ワイン)推進員  
中山間地域の未来学Ⅱ 研修生

**D. 「山ノ内町の観光とまちづくりの活性化 ~スノーモンキーをフックに滞在型の観光に~」**  
「株式会社WAKUWAKU」は、今年8月に設立した山ノ内町の観光とまちづくりの活性化を行う民間会社。「地域おこし協力隊(通称スノーモンキー)」は、外国人観光客が季節的訪れるがその中の1万人以上が滞在したいほどに日本最大のスキーリゾートの志賀高原、1350年の歴史を誇る湯田中・湯浅温泉などの豊富な観光資源がある。知らず知らずのうちに滞在型、スノーモンキーをフックに滞在型観光を推進したいと思っています。

**E. 「響き降り注ぐ、癒しのワークショップと演奏会」**  
音楽療育中心に右手にピアノを演奏し、左手のピアノとして「内手楽器の奏鳴から」まで音楽、国内外で活躍している野村理恵。現在は長野県に、自然豊かな休まる長野で、ワークショップや演奏会などの音楽活動を行っています。様々な人による癒しの時間、そして人としての豊かさを創出して欲しいと考えています。魅力あふれる地域の人があふれないように、元気に活動し、響きの活動を通して、身近に音楽と接しながら人々が楽な機会を提供したいと考えています。

**F. 「大町市「ハウスワイン特区」を活用した地域振興」**  
農業・宿泊業・観光業を結び、大町市人呼び込む仕組みをつくります。キーワードは「ハウスワイン特区(農家が自ら醸造した果実を飲み、自家醸造等を通じた事業は、製造業基準が適用されない。つまり、小さな設備で果実酒が出来る。)」。ぶどうの栽培・ワインの醸造体験に、宿泊・観光をセットします。専らぶどうの苗木を植え、宿泊・春の大町を楽しむ。夏は避暑や避暑地・宿泊・夏の大町収穫・ワインの造りかた・宿泊・秋の大町を楽しむ。冬は冬の大町を楽しむ。ワイン自分だけのワインをつくり、リビーターワインは一年に一回、納税できるワインが出来るまで毎年でも大町市に通って来ます。やがて大町市に移住しもらえるための。

信州大学 地(知)の拠点 SHINSHU UNIV. AREAS

主催：地域をみなおす、うごかす。実行委員会  
(信州大学プロゼミⅡ 研修生、長野県地域おこし協力隊有志、信州大学地域戦略センター、長野県)  
共催：長野市、松本市、上田市、伊那市、南箕輪村

お問合せ (担当：アンケート、近久間、坪内)  
住所：〒390-8621 長野県松本市信 3-1-1  
電話：0263-37-2076 (受付時間：平日 09:00 ~ 16:00)  
ファクス：0263-37-2076  
MAIL: C.CCpro@shinshu-u.ac.jp  
ウェブ: www.shinshu-u.ac.jp /institution/areas/

中山間地域の未来学Ⅱ\_講座カリキュラム

10/24(土) 第1回 討論会「私がこの地で生きる理由」

事前課題：「未来新聞」

11/07(土) 視 触 11/21(土) 視 触 12/06(日) 視 触

湧池・古藤地区 高野地区 灰原地区

第2-3-4回 第5-6-7回 第8-9-10回

「集落トマソンワークショップ」 「農具民具ワークショップ」 「冠婚葬祭と食文化ワークショップ」

【地域資源を発見!】 【地域資源を活用!】 【地域資源を伝える!】

事前課題：「PDCAシート」

1/23(土) 第11-12回 対話から提案へ「地域課題分析ワークショップ」

1/30(土) 第13-14回 中間発表「長野市信更町の未来へいまできること①」

2/13(土) 第15回前半 グループ発表「長野市信更町の未来へいまできること②」

2/13(土) 第15回後半 個人発表「地域の未来へいまできること」

フィールド実学フェーズ  
企画・協働フェーズ

【個人テーマ】「グループテーマ」ケーススタディ…長野市信更町

## 第2期修了生 地域の革新的リーダー 計55名！



中山間地域の未来学Ⅱ：15名／芸術文化の未来学Ⅱ：25名／環境共生の未来学Ⅱ：15名

## H28 プロゼミ第三弾 始動！



### 講座期間

2016年10月～2017年3月

### 募集期間

7月29日（金）

～9月12日（月）必着  
好評につき締切延長！

### 定員

最大30名

※志望動機等により選考

### 受講料

¥20,000（教材費、施設  
利用料等含む）

北信地域

## 中山間地域の未来学Ⅲ

「本当に集落は限界なのだろうか」

中山間地域の未来学Ⅲ修了生  
りんご農家見習い・長野市  
吉川 悠太

テーマ：「本当に、集落は限界なのだろうか ― 尊び敬う やまざとの現在―」

**実施期間：** 2016年10月22日(土)～2017年2月18日(土)(全15回+α)  
**受講生：** 最大30名(※志望動機等により選考)  
**講座会場：** 信州大学工学部キャンパス、長野市小田切地区、ほか  
**協力：** 長野市小田切地区住民自治協議会、長野市小田切支所、長野市地域活動支援課、長野県地域振興課、ほか

# H28 本年度も多彩な講師陣・内容で開講予定!

北信地域

## 中山間地域の未来学Ⅲ

中山間地域では、複合的で多岐に及ぶ課題が生じています。その課題に取り組む人材(キーパーソン)の育成は、地域や集落の現状を大きく左右します。本講座では、次代の中山間地域のキーパーソンになりうる人材を育成します。受講生は、「協働的思考力」をコアスキル、「地域振興の取組力」と「企画・協働力」をサブスキルとして習得することを目標とします。

受講生は、(1)地域の今(課題や地域資源)を知り、地域の未来を考えたための視点を提供する。(2)中山間地域をフィールドとして地域往來を巻き込みながら実習を行うことで実学を提供する。(3)グループでの学習と中山間地域で活動する講師や地元住民との交流により、地域での取り組みに向けた動機付けを高めネットワークを構築する。(4)各講義に「前・中」から複数の講師を配置し、カリキュラムの中でも新たな可能性や視座の広がりを図る。以上4つの特徴をもちます。

講座概要

テーマ：中山間地域の未来学Ⅲ  
 「本当に、集落は限界なのだろうか ― 尊び敬う やまざとの現在―」  
 期 間：2016年10月～2017年3月(予定)  
 会 場：信州大学工学部キャンパス、長野市中山間地域 ほか

募集概要

対象：現在中山間地域で活動をしている方、これから中山間地域で活動したいと考えている学生(学部・専攻は問はず)を募集し、学習し活動する意欲のある方、原則として全ての講義・演習を受講できる方  
 定 員：最大30名  
 (※志望動機等により選考し、受講生を決定します。)

講座内容

期 間	2016/10/1 (土)	オリエンテーション・第2期修了生活動報告
第1,2,3,4回	講義+グループワーク+フィールドワーク+合席(修了生合同)	【フィールド実学フェーズ1】 地域資源探検ワークショップ 数字で知る全国の集落運営-修了生対談会-
第5,6回	講義+グループワーク+フィールドワーク	【フィールド実学フェーズ2】 五民種の解剖学-結核と集落の生活史-
第7,8回	講義+グループワーク+フィールドワーク	【フィールド実学フェーズ3】 民謡リバーセッション-口伝-継承の再構築-
第9,10回	講義+グループワーク+フィールドワーク	【フィールド実学フェーズ4】 神様と赤くく-山への参道と郷土文化-
全コース共通講座	2016/12/17 (土) 公開プレゼンテーション	第2回(地)の拠点円卓会議 長野県×信州大学 合同企画
第11,12回	講義+個人発表+グループワーク	【企画提案フェーズ1】 住民対話-集落と地域との主要-
第13回	講義+グループワーク+発表会	【企画提案フェーズ2】 企画提案-アイデアの芽を結ぶ-
第14回	講義+グループワーク+発表会	【企画提案フェーズ3】 中間発表-新しい時代の集落のカタチ-
第15回	グループ発表+個人発表	【企画提案フェーズ4】 最終公開プレゼンテーション -地域の未来へいままでこと-
修了式	2017/3/4 (土)	全コース合同成果発表会

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 工学部 研究員 藤 健太  
 信州大学 工学部 教授 天野良彦

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 松本本部 上野研典 農村専攻  
 信州大学 工学部 教授 天野良彦

中・東信地域

## 芸術文化の未来学Ⅲ

「地域らしさ」を創り出す芸術・文化は、地域の活性化や地域課題の解決に貢献して「まちづくり」を担うことができる。つまり地域資源に対する新たな視点や、地域や地域課題との関係性から活動を生み出すことで実現できるのでないか?そしてそのためには、地域の特色や魅力を受け手を整った体系的な活動としてマネジメントできるプロフェッショナルの人材が必要なのではないか?こうした疑問に答えを見つけ、自ら実践できる人材を育成します。

講座概要

テーマ：芸術文化の未来学Ⅲ  
 「地域をつくる市民プロフェッサー ―芸術文化の地域づくりはあるのか?―」  
 期 間：2016年10月～2017年3月(予定)  
 会 場：信州大学松本キャンパス、信州大学上田キャンパス、長野県・上田市の芸術文化施設 ほか

募集概要

対象：芸術文化活動を通じた地域づくりに関心がある方、人や活動をつなげ地域に響かした経験や活動を生かしたい方、テーマに関連する意欲のある方を募集し、原則として全ての講義を受講できる方  
 定 員：最大30名  
 (※志望動機等により選考し、受講生を決定します。)

講座内容

期 間	2016/10/1 (土)	オリエンテーション・第2期修了生活動報告
第1回	講義	自治体の取り組みと期待を知る
第2,3回	講義+座談会 グループワーク	地域がもつめる「市民プロフェッサー」 活動ワークショップ-地域の課題-選ぶ、ひらく-
第4,5,6,7回	フィールドワーク+グループワーク+合席(修了生合同)+演劇発表	ワークショップ「まちの観察」 -まち歩きワークショップ、そして演劇創作へ-
第8,9回	講義+座談会 グループワーク	事例に学ぶ地域コーディネート 事例に学ぶ地域マネジメント
全コース共通講座	2016/12/17 (土) 公開プレゼンテーション	第2回(地)の拠点円卓会議 長野県×信州大学 合同企画
第10回	講義+グループワーク	ワークショップの設計
第11,12回	グループワーク	企画提案力を磨く1
第13,14回	グループワーク	企画提案力を磨く2
第15回	個人発表	最終成果発表会
修了式	2017/3/4 (土)	全コース合同成果発表会

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 松本本部 上野研典 農村専攻  
 信州大学 工学部 教授 天野良彦

南信地域

## 環境共生の未来学Ⅲ

「環境とは何?」から社会システムまでを含めた視点で、その中でも「身近な環境」「自然共生環境」などを設定されるのが特徴です。しかし本来は多岐にわたる自然現象が連続する間は間接的に関連しあっているもので、その大きな面(わ)が自然は様々な地域の課題が存在します。環境を知るためには環境の中づらに気づき、全体を見渡す力が重要で、「多様なアプローチ」を得意とする人材の育成を目的とし、南信地域の「森林資源」「鳥獣害」「土砂災害」「地域振興」等の課題から「環境共生」を学びます。それぞれの課題のエキスパートからの講義だけでなく、実際の現場で多岐な会員で多く歩いて、そこから学びを議論し学んでいます。地域を再発見する目を養うとともに、すでに実践されている実務的な取り組みから向上させるためのアイデアを引き出すきっかけとなるカリキュラムとなっています。

講座概要

テーマ：環境共生の未来学Ⅲ  
 「環境」を多面的に捉えとらえ  
 「未来はどう見えるのか?」  
 期 間：2016年10月～2017年3月(予定)  
 会 場：信州大学農学部キャンパス、伊那谷地域 ほか

募集概要

対象：地域の自然、農業、林業、鳥獣、第2・3次産業など、身のまわりの環境について関心を持ちたいと考えている学生、また人間と自然の関わり合いについて知識を深めたい方、原則として全ての講義・演習を受講できる方  
 定 員：最大30名  
 (※志望動機等により選考し、受講生を決定します。)

講座内容

期 間	2016/10/1 (土)	オリエンテーション・第2期修了生活動報告
第1回	講義+座談会	環境とは何かを考える -環境を捉える視点と新たな視座-
第2,3回	講義+フィールドワーク	それぞれの立場で考える -地域と自然と共生と環境共生-
第4,5,6回	講義+グループワーク+フィールドワーク+合席(修了生合同)	共有する環境を考える -鳥獣被害は地域の利益にどうなるのか-
第7,8回	講義+フィールドワーク	環境の変化を考える -美しいまじりの現状-
全コース共通講座	2016/12/17 (土) 公開プレゼンテーション	第2回(地)の拠点円卓会議 長野県×信州大学 合同企画
第9,10回	講義+グループワーク+フィールドワーク	新たな環境を考える -松林とこれからの木材産業-
第11,12回	講義+フィールドワーク	地域の未来を考える -伊那谷の産業はどうなるのか-
第13,14回	講義+グループワーク+フィールドワーク	比較する視座を考える -伊那谷とツタンカムと東の谷-
第15回	グループ発表+個人発表	講座全体を通してまとめ発表
修了式	2017/3/4 (土)	全コース合同成果発表会

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 農学部 研究員 横山俊一  
 信州大学 農学部 教授 竹田謙一

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 信州大学 産学連携・地域総合戦略推進本部  
 農学部 研究員 横山俊一  
 信州大学 農学部 教授 竹田謙一



### 3. 大町市定住促進共同研究 大町市街地における「空き不動産」活用モデル調査

H27年度～ 大町市×信州大学



## 大町市の空き家率

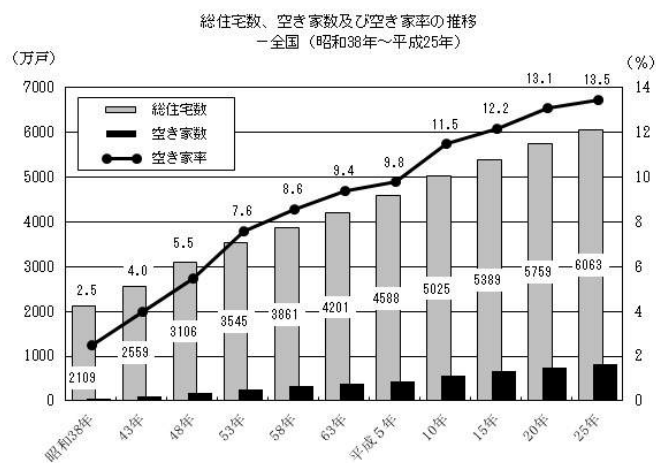


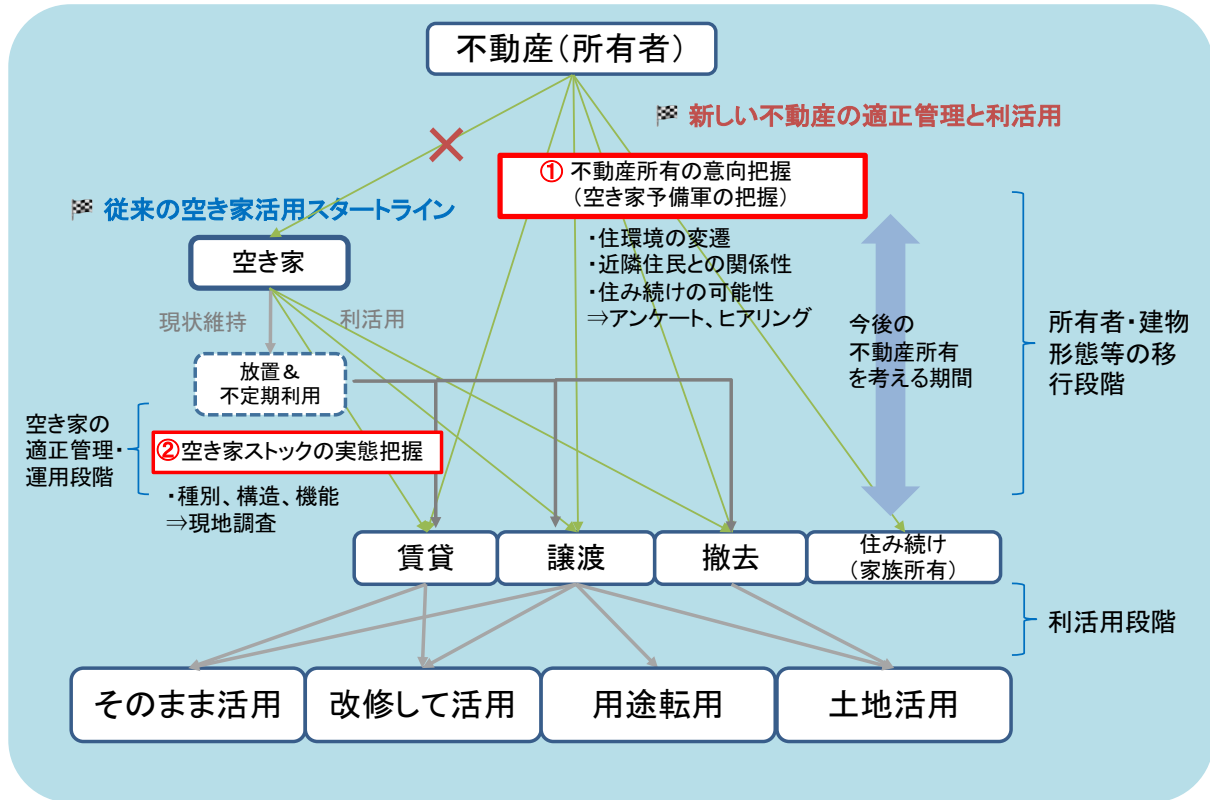
- 全国の空き家率：13.5%
  - 長野県の空き家率：19.8%
- 約  $\frac{1}{5}$  戸 (全国ワースト2位)

### • 大町市空き家数

※店舗・アパートメント等は含まない

$$\frac{\text{空き家：1920戸}}{\text{住宅件数：14360戸}} = \text{約 } \frac{1}{7} \text{ 戸 (総務省, 2013)}$$





## H27 「不動産所有者アンケート調査」の実施

### 1. <まずは、現状把握！>

○現在の空き家・空き店舗・空き土地等の「空き不動産」の実態把握  
 いったいどれだけあるの？

### 2. <5年後の不動産状況の把握！>

○将来の空き家・空き店舗・空き土地予備軍の潜在量の実態把握  
 私自身は家・店・土地をどうしていこう？

### 3. <これからの未来の地図を描く！>

○1.と2.の結果から分析し、見える化。  
 私たちのまちは、こうだったんだ！  
 ○まちづくりの方針を話し合しましょう！  
 私たちのまちは、どう変わっていくの？  
 私たちのまちづくりに、空き家などを活用できないだろうか？

#### 調査①

- 不動産所有者アンケート調査
- 調査対象モデル地区  
 仁科町・五日町・八日町
- 全戸を対象に下記を調査
  - ・不動産の現状
  - ・これからの意向（5年後）
- 回収期間  
 ~2016年1月11日（祝）

#### 調査②

- 「空き不動産活用！住民まちづくり会議」の開催
- 住民・行政・企業・大学等が集う対話の場
- 開催日程  
 2016年3月6日（日）  
 2016年3月13日（日）

# H28「住民まちづくり学校」の開講



2016/05/29 資料

平成 28 年度 大町市 × 信州大学 定住促進共同研究  
大町市街地における「空き不動産」の活用モデル調査共同研究事業



平成 28 年度事業

## 『住民まちづくり学校』

○実施計画スケジュール (案)

いまや地方都市の代名詞と言える人口減少・少子高齢化の国家的課題は大町市でも色濃く、特に不動産の実態把握は定住促進を進めていくうえで最も重要な施策の一つです。大町市の住宅件数 14360 戸のうち 1920 戸が空き家 (総務省, 2013) であり、約 7 軒に 1 軒が空き家の危機的な状況であると言えます。平成 20 年度より市では「空き家バンク」制度を導入しているが、市内外の活発な利用には至っていません。これは空き家所有者や住民自治組織の将来に渡る想い・意向を把握できていない点が挙げられ、未来の空き家の具体的な戦略が描けないことに繋がっています。

そこで本研究では、大町市街地の 3 地区 (五日町・八日町・仁科町) をモデル地区として定め、平成 27 年度は各地区の全戸を対象に「不動産所有者アンケート調査」を実施しました。これによりモデル地区の現在の不動産動態の把握のみならず、将来の不動産動態の見込み (空き家予備軍など) を知ることができました。

本年度は、これらの基礎データをもとに、実際に空き家・空き店舗・空き土地を活用しまちづくりに繋げることを目的として、「住民まちづくり学校」をシリーズ開催します。これは、お住まいの住民の皆さん自らが積極的に行動し、考え、どのような未来を次世代に伝えていくのかを最終的に提案発表するための産学官民一体となって行う事業です。

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
5 月 29 日 (日)	6 月 26 日 (日)	8 月 21 日 (日)	9 月 18 日 (日)	10 月 2 日 (日)	10 月 30 日 (日)
座学 (3 時間)	善光寺視察 (5 時間)	まち歩き (4 時間)	企画構想 (3.5 時間)	中間発表 (3.5 時間)	提案発表会 (3.5 時間)
大町リノプロ	善光寺門前界限	仁科町・五日町・八日町	大町リノプロ	大町リノプロ	【公開】大町市役所
13:00 開場 13:30- 1. H27 研究報告 - 不動産所有者 アンケート調査 2. H28 研究計画 - 住民まちづくり学校 - アンケート調査 14:30- 3. レクチャー 全国の空き家・空き 店舗活用の先進事例 15:30- 4. グループワーク - 提案発表要項 16:30	9:00 信濃大町駅前出発 バス移動 (長野へ) 10:30- 1. 現地視察 - カネマツ - アソビズム - ナノグラフィカ - 1166バックパッカーズ ・・・ほか 改修候補物件 (解体・工事中等も) 2. 意見交換 - Shinkoji Cafe 15:30 長野発 17:00 頃 信濃大町到着	13:00 開場 13:30- 1. フィールドワーク説明 - グループ分け - 作戰会議 14:00- 2. まち歩き - 良いとこ / 悪いとこ / アイデア - 発表準備 16:30- 3. 発表会 -17:30 終了予定 ※時間はグループ数によ って変動可能性あり	13:00 開場 13:30- 1. レクチャー① 「塩の道」の歴史遺産 的価値について 14:00- 2. レクチャー② 企画提案の方法 14:30- 3. 企画を練る対話会 - 企画の種の発見 - 課題・目的抽出 ※町単位のグループ 16:00- 4. 発表会 -17:00 終了予定	13:00 開場 13:30- 1. 発表準備 - グループ作業時間 15:00- 2. 中間発表会 - プレ審査 (発表+質疑応答) 16:00- 3. レクチャー 講評+事例紹介 -17:00 終了予定	13:00 開場 13:30- 1. 基調講演 14:30- 2. 提案発表会 - 発表+質疑応答 - 市長・副市長など + 外部有識者講評 15:30- 3. パネル・ ディスカッション -17:00 終了予定

## 【Step.1】昨年度の振り返り & 先進事例を知る！



平成 28 年度 大町市 × 信州大学 定住促進共同研究  
大町市街地における「空き不動産」の活用モデル調査

### 第 1 回 住民まちづくり学校

『研究概要+全国の空き家等活用先進事例の紹介』  
住民みずから学び、考え、行動する「学校」が開講！



日時 平成 28 年 5 月 29 日 (日)  
13:30 - 16:30 【開場 13:00】

会場 大町リノプロ (大町市大町 3206 番地 14)

平成 27 年度より、大町市と信州大学が共同して大町地区の『空き不動産』の調査研究をはじめました。未来のまちを創造する一歩は「住民まちづくり学校」と題し、全 6 回の講座を展開していきます！

第 1 回 平成 27 年度 大町市 × 信州大学 定住促進共同研究  
大町市街地における「空き不動産」の活用モデル調査

### 住民まちづくり学校

もはや聞き慣れた「人口減少」や「少子高齢化」といった言葉の実態がここ大町でも色濃く、特に「空き家」の問題はさまざまな形でまち自らの顔を変えてつづいてきます。長野県は、5 軒に 1 軒が空き家という全国ワースト 2 位の空き家率 (総務省, 2013)。私たちのまちは、今後どうなっていくのでしょうか。何冬次世代に残せるのでしょうか。

空き家は、人口の抜け殻です。人が減れば、自ずと空き家は増える。ここでもう一度、「いま」の大町ならではのまちづくりを考えませんか。

町外からも人が訪れ、活気みなぎるまち  
若者と高齢者が助け合う笑顔あふれるまち  
思わず「ずく」が出て、外に出たくなるまち

本年度、「いまのまちの良さ」や「地域に生きる」ことの魅力を再発見する「住民まちづくり学校」を開講します。まちの未来を創造するお手伝いができたらと思っています。



新 雄太  
信州大学 工学部 建築学系 地域総合戦略  
推進室 研究員



山 島 香織  
信州大学 工学部 建築学系 地域総合戦略  
推進室 専任講師

神奈川県川崎市出身、スイス連邦工科大学卒業。2009 年東京芸術大学大学院芸術研究科建築専攻修了。コンクリート・クラフト・建築設計事務所にて勤務。2014 年一職、長野市街地再生における「ソルガムきび」活用調査共同研究。長野市・中山町地区における空き家調査、文部科学省 地域戦略推進プログラム (中山町地区の未来) などを担当。

開場 13:00

- 開始 13:30 第 1 部 研究概要
  - ◎平成 27 年度研究報告
  - ◎平成 28 年度研究について
- 14:30 第 2 部 先進事例を知る！
  - ◎空き家・空き店舗等を活用した全国の先進事例をご紹介します
- 15:30 第 3 部 対話する！
  - ◎グループで意見交換
  - ◎まとめ
  - ・次回の住民まちづくり学校
  - ・第 6 回「提案発表会」に向けて
- 終了 16:30 (予定)

対象：調査モデル地区の仁科町・五日町・八日町の住民の皆さんを原則対象としますが、今回はどなたでもご参加いただけます！

参加費：無料  
申込：不要  
持ち物：特になし (差し入れ大歓迎！)  
駐車場：市営駐車場をご利用ください。



信州大学 SHINSHU UNIVERSITY  
お問い合わせ  
国立大学法人信州大学  
産学官連携・地域総合戦略推進本部  
担当：新 雄太 (研究代表者)  
〒380-8553 長野市若里 4-17-1  
電話：026-269-5625 (ファクス：5630)  
メール：yutasin@shinshu-u.ac.jp  
ウェブ：www.shinshu-u.ac.jp/institution/areas

大町市 OMACHI CITY  
大町市役所  
大町市総務部まちづくり交流課定住促進係  
担当：西澤 剛志  
〒398-8601 大町市大町 3887  
電話：0261-21-1210 (ファクス：23-4304)  
メール：teijuu@city.omachi.nagano.jp  
ウェブ：www.city.omachi.nagano.jp/teiju/



